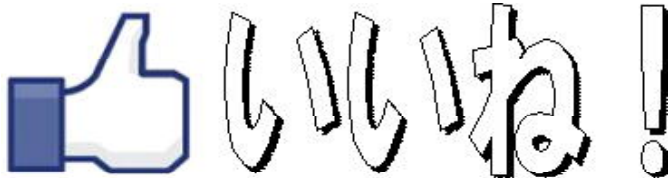




# 浦島伝説



2月1日に、プロ野球がチャンピオンしました。また、ソチオリンピックも間もなく開幕します。スポーツは勝ち負けも大切ですが、思わず「いいね!」と言いたくなる感動的な話に出会うこともあります。

青島グランドホテルは、1973年から巨人がキャンプ中の宿舎(2009年からは2軍宿舎)としている。富森信作社長は21年前の記憶をたどると、表情が穏やかになっていった。甲子園を沸かせた松井秀喜氏がプロ1年目をスタートさせた1993年2月1日。「最初はスーパースターということで、変な物差しで見えてしまっていた」というが、すぐにその人柄にほれた。そして、これは大女将が実際にお客さんから聞いた話なんです」と切り出し、大浴場でのエピソードを披露した。現在はホテル全体を貸し切っているが、当時は一般客も宿泊可能で大浴場で選手と一緒にすることもあった。

一般のお客さんとともに湯船に漬かっていた松井氏は上がる際、自分が使用したおけや椅子などを整頓すると、他の席も同じようにきれいに並べた。そして、お客さんに向かい「お先に失礼します」と頭を下げた。「松井のファンになったよ!」。居合わせた男性客は、興奮気味に大女将に明かしたという。

「これにはビックリでした。なかなかできることではない」と富森社長。その姿勢は何年たっても変わらない。宿泊中、松井氏がホテル側にあれこれ注文することなど全くなかった。「こちらが“本当に大丈夫なのかな?”と心配するくらい何もなかった。そういう人柄に接するうち、社員が次々とファンになっちゃうんです」。もちろん、社長自身もその一人だ。 ※スポニチアネックス(1/31)から一部引用

プレーだけでなく、人間として周りの人を惹きつける選手こそが、スーパースターたるゆえんです。また、部活動などの身近なスポーツでも、自ら体験することで学ぶべき「いいね!」はたくさんありますよ。

## A教頭の「走ることのススメ 2014」

今年も丸亀ハーフマラソンに参加しました。昨年は2時間を切る自己新記録を出しましたが、今回は2か月以上も前から足の痛みとの戦いで、満足が練習ができず、「期待<不安」なまま当日を迎えました。

雨予報ははずれたものの、20℃近くまで上がった気温の中でのレースとなりました。前日に、接骨院で電気をあて、温泉でマッサージを受けたおかげで、前半は何とか持ちこたえ、折り返し地点を1時間で通過しました。しかし、後半に足が痛み出し、それをかばって走ったためか、節分前日にもかかわらず、足の裏に豆ができるという想定外の痛みとの戦いにもなりました。最後の5キロは練習不足がもろに出て全く足が上がりません。それでも、途中で一步も歩くことなく走り続け、何とかゴールにたどり着きました。記録は2時間11分台と振るいませんでしたが、今の状態ではベストを尽くせたと思います。

今、STAP細胞で注目を浴びている小保方晴子さんの「やめてやると思った日も、泣き明かした夜も数知れないですが、今日一日、明日一日だけ頑張ろうと思ってやっていたら、5年が過ぎていました」というコメントは、マラソンと相通じるものがあります。あと1キロ、あの交差点まで頑張ろうと思って走ったら、ゴールにたどり着くことができました。マラソンも入試も人生も、走り続けることが大切です。

## 時間が守れる人(授業開始・下校時刻)

- 生活委員会が行っている“ターゲット2”。1月(1/15~1/31)は「授業準備をして2分前着席しよう」に取り組みました。その結果、最も頑張った学級は、1-1、2-3、3-1でした。なお、もう一つのターゲットの「アルミ缶、エコキャップを集めよう」は、2月も継続して取り組んでいます。
- 2月の下校完了時刻は、1月より15分遅くなり5時45分です。5時30分には部活動をやめ、後片付けをしなければなりません。「時を守る」ことは、下校時刻も同じです。

ところが、1月の下校状況を見ていると、時間に対する意識が非常に低いことがわかります。1月31日に、下校完了時刻の5時30分を過ぎて下校した生徒の数を調べたところ、72名もいました。さらに、その時刻が過ぎていても、友達とのんびり話しながら自転車置き場に行くなど、急ごうとする姿が見られません。下校時刻は、生徒たちが安全に家庭に帰るために決めた学校のルールです。ルールは守れ!!!